

小学校の市内陸上大会 について



石川 友和
議員

市内小学校の陸上大会は、主に各校5、6年生を中心とした選抜選手が大会に参加されていて、私たちの時代と変わらず陸上大会が行われてきました。

多くの保護者より、今年度から学校対抗の総合順位は付けないと伺いました。ある意味、学校総合順位を付ける事で、各学校が切磋琢磨して、心を一つに練習等に取り組んできたと思います。

そこで、今年度より、この学校総合順位を付けない理由について伺います。

また、この学校総合順位を付けないことで、各学校での陸上大会の練習への取り組みはどのように変わったのかを伺います。

○学務指導担当部長

児童数の異なる学校間で総合得点を競うことへの不公平感、練習日程や時間が増えることによる児童、保護者、教

職員の負担感の増大等の状況や意見から慎重に検討した結果、運営面の効率化、児童の健康、安全面への配慮、教職員の負担軽減等を考慮して、今年度より学校総合順位は付けないこととなりました。

今年度は昨年度に比べ、練習日数や練習時間を短縮した学校や、練習内容に重きを置いて指導した学校が多く見られ、子どもたちは、主体的に練習に取り組むことができました。

このほか
○児童生徒の花粉症問題について

春日部市災害時医療 救護活動について



海老原光男
議員

災害時医療救護体制では、春日部市の医師会、歯科医師会、薬剤師会、接骨師会、鍼灸マッサージ師会、関係諸団体の協力のもと、医療救護訓練が昨年度より実施され、市内5カ所（市立医療センター前、東中、武里南小、豊春中、桜川小）と定められた救護所

において毎年順次実施することですが、市民の方からは、救護所が設置される場所が自宅からかなり遠くて不安だ、との意見がありました。

例えば、自治会連合会単位で、各地区に1カ所、計7カ所ずつ設置された方が分かりやすく、均等感があると思われ

○健康保険部長
そこで、医療救護所の設置数と設置場所を定めた経緯についてお伺いします。

医療救護所については、医療関係者が参集することで、大勢の負傷者に対応できることや、救急搬送を受け入れる病院が重症者の治療に専念できるようにするためといった、一人でも多くの命を守るための体制を構築するものです。

設置場所に関しては、医師など医療関係者から専門的見地に基づくご意見をいただきながら、また道路、橋などの地勢や市内の医療従事者の数、地域の人口などを勘案の上、市立医療センター前、東中、武里南小、豊春中、桜川小の5カ所としたものです。

このほか
○春日部市観光振興基本計画について

SNS相談について



木村 圭一
議員

厚生労働省の自殺統計によると自殺者割合は近年減少傾向に向かっているものの、十歳代の自殺者割合は高止まりしたままで、社会問題になっています。特に埼玉県

自殺者数は平成30年では、全国三番目に高い状況です。本市でも相談体制の充実を図っていることは承知をしていますが、児童生徒のスマートフォン等の保有率が県内平均より10%も高い傾向がある本市で、さらなる充実をさせるため、SNSを活用した相談を行うことができないものか。また、自殺防止対策として学校等を卒業された若者に対する悩み相談についても、相談しやすいようにSNS等を活用した相談を行ってみてはどうか。

○学務指導担当部長

SNSを活用した相談については、さらなる研究が必要なたため、他自治体の取り組みの情報収集に努めていきます。

今後、現在の相談の充実を図り、相談者の心情に寄り添った相談を実施していきます。

○健康保険部長
自殺防止のためのSNSによる相談は、画面の文字だけで適切に把握できる技能を持つ相談員の育成や、夜間や休日などの相談体制を構築することに課題が多く、現段階では厚生労働省や県が実施しているSNSやメールなどの相談を案内していきます。

このほか
○本市のドローン活用について

○新婚生活支援について



保有率の高いスマートフォン（イメージ）

高齢難聴者の
補聴器購入に
公的補助を



坂巻 勝則
議員

聞こえるということは、人と人のコミュニケーションと社会参加には不可欠な機能ですが、70歳以上の約半数が難聴と言われており、今のところ補聴器を使うしか手立てはありません。日本の補聴器所有率は欧米と比べ格段に低くなっています。欧州では補聴器装着を医療のカテゴリーで手厚く補助しており、個人負担が低額負担で装着できるため普及しています。対して日本は障がいのカテゴリーで対応しているため、聴力70デシベル以上の重度難聴者以外は公的助成の対象にならないため個人負担が多く、補聴器の普及が進んでいません。世界保健機関（WHO）は、中度難聴の聴力レベル41デシベル以上を補聴器装着基準としています。また、厚生労働省の新オレソンプランでは難聴の放置を認知症の原因の一つとして挙げています。早期

の補聴器装着は認知症予防や医療費節約にもつながります。高額のため購入を諦めることがないように、公的補助が必要だと思いますが考えを伺います。

○福祉部長
補聴器を使用する効果については国において研究中であることから、市としては現行制度の中で適切に対応します。

○市長
補聴器購入の助成制度創設については、補装具費支給制度により適切に対応します。

障がいのない子も
共に取り組める春日部に
児童館の建設を



大野とし子
議員

子どもの権利条約が批准されて30年になります。第2条に差別の禁止があり、障がいのある子どものニーズに合わせて、社会の中で普通に暮らしていけるインクルージョンの促進が掲げられています。埼玉県教育委員会は、障がいのある子もない子も共に生

きるからこそが普通であるとのノーマライゼーションの理念に基づき、支援籍学習に取り組んできました。春日部市は平成18年度より取り組んでいます。支援籍学習の取り組みをどのように評価し、多機能トイレ設置など環境整備も含め、今後どのように充実していくのか伺います。

また、特別支援学級と通常学級との交流は最も身近な支援籍学習として重要と考えますが、市の認識を伺います。

○学務指導担当部長
通常学級の児童生徒にとつては障がいのある子への理解が深まり、優しさを持つことができ、障がいのある子にとっては地域に住む友達と知り合えるなど心情面、態度面共に変容が見られることから、児童の成長を促す効果的な取り組みと考えています。環境整備については、教育的ニーズにに応じて実施していきます。

また、特別支援学級の児童生徒もクラスの一人であるという認識のもと、全般にわたる通常学級との継続的、多面的な交流に努めています。

このほか
○学校給食費の無償化で笑顔あふれる給食に

請願の提出方法について

- ① 原則として、左記様式により提出してください。（請願書様式は、市議会ホームページからダウンロードできます。）
- ② 請願には、市議会議員1人以上の紹介が必要です。請願書の表紙に、紹介議員の署名、または記名押印を受けてください。
- ③ 請願者は、署名・記名にかかわらず押印が必要です。
- ④ 請願者が複数の場合は、代表者を決めてください。
- ⑤ 道路・下水道など、場所に関するものについては、略図を添付してください。
- ⑥ 各定例会で審査されるものは、各定例会開会日の5日前に開催される議会運営委員会の前日までに提出されたものになります。

内容	表紙
件名 要旨 理由 地方自治法第124条の規定により、 上記のとおり請願書を提出します。 令和 年 月 日 請願者 住所 氏名 春日部市議会議長 あて	を求める請願 紹介議員

《用紙はA4 横書き》

※詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

閉会中の委員会活動

▽議会運営委員会

- 5月22日
令和元年6月定例会の運営について

▽議会改革検討特別委員会

- 4月19日
議会報告会について
- 議会内の設備等について
- 5月22日
議会報告会について
- 議場内の設備等について

▽広報広聴委員会

- 6月25日
議会だより第56号について
- 7月5日
議会だより第56号について
- ▽図書室運営委員会
6月25日
令和元年度購入図書の申し込みについて

市議会ホームページのご案内

市議会ホームページがスマートフォンやタブレット端末でもご覧いただけます。



傍聴して一言

初めて参加させていただきました。春日部が良くなることを願います。 女性・74歳

身近な問題について質疑応答が続き、大変参考になりました。初めて参加して有意義な時間を過ごさせていただきました。私をはじめ多くの市民が関心を持つためにはもっとアピールしたほうが良いと思います。少し傍聴者が少ないように感じました。 女性・75歳

もっとゆっくり大きい声でマイクに近づけてお話しください。高齢者には特に聞き取りにくいです。議長は時々、議場内の方に「よく聞こえていますか」と呼びかけてください。 男性・69歳

交通マナーに関して、「春日部ルール」をいち早く決め、全国に先がけ実行してほしい。答弁ももっと市独自のはつきりとしたものにしてほしい。

一日でも早ければ事故も減ると思う。 女性・77歳

市の予算も増え、事が活発に進むようにお願いします。 男性・60歳

議員の質問と市の回答により身近な消費税対策、廃プラスチック対策がされていることがわかり安心しました。広報で詳細が通知されていると思うので細かく読むようになります。 男性・74歳

※割愛させていただいた部分もあります。

今定例会傍聴状況

月日	傍聴者数	主な日程
5/28	7	上程・説明
30	2	質疑
6/3	2	委員会
5	18	一般質問
6	45	一般質問
10	22	一般質問
13	11	一般質問
14	26	一般質問
18	1	討論・採決
合計	134	

編集後記

盛夏の候、皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

東京オリンピック・パラリンピック開催まで約1年となり、オリンピック聖火リレールートに春日部市も選定されました。旧日光街道「粕壁宿」を通る計画で、春日部の街並みを全国の方々に見ていただくことを想像しますと、今からわくわくいたします。ちなみに聖火ランナーが春日部を駆け抜けるのは令和2年7月8日の予定です。

さて、6月定例会では、本年10月より国が実施する予定の「幼児教育・保育の無償化」に伴う事業を含む、一般会計補正予算を可決。また、毎月勤労統計調査の不正等により、国民の疑念が払しょくされないうち、国に対し、信頼される政府統計を求める意見書を全会一致で採択しました。また、今定例会では、新議長、副議長を選出しました。議員一同、新たな気持ちで、市民の皆さまの福祉増進のため、今後も真摯に取り組んでまいります。

広報広聴委員会

- 委員長 古沢 耕作
- 副委員長 坂巻 勝則
- 委員 榛野 博
- 委員 石川 友和
- 委員 今尾 安徳
- 委員 吉田 稔
- 委員 鈴木 一利
- 委員 武 幹也
- オブザーバー 金子 進
- 議長 海老原光男
- 副議長

〒344-8577
埼玉県春日部市中央六丁目2番地
春日部市議会
TEL 048-736-1111(代表)
内線3116

本会議の傍聴を希望される方は、市役所本庁舎3階の傍聴者受付で、住所及び氏名をご記入の上、傍聴券を受け取り、傍聴席に入場してください。
傍聴席は56席（車イス傍聴席2席含む）となります。
本会議は、通常午前10時から開催します。

次の定例会は
8月26日(月)
開会予定です

